

## 1. 評価結果概要表

作成日

平成 21 年 3 月 26 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4071501722		
法人名	医療法人富松記念会 高齢者グループホーム いろは		
事業所名	グループホーム いろは		
所在地	福岡県大牟田市大字三池163番地 〒837-0921 (電話) 0944-53-3168		
評価機関名	社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会		
所在地	福岡市中央区荒戸3-3-39		
訪問調査日	平成21年3月18日	評定確定日	平成21年5月15日

## 【情報提供票より】(平成 21 年 2 月 24 日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16 年 12 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	10 人	常勤 9 人	非常勤 1 人 常勤換算 9.6 人

## (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨耐火構造 造り 1 階建ての～ 1 階部分		
------	------------------------------	--	--

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	49,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(一時金を含む)	有(円)	有の場合償却の有無	有 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日あたり		1,050 円程度	

## (4) 利用者の概要(2月 24日現在)

登録人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護 1	11 名	要介護 2	4 名		
要介護 3	0 名	要介護 4	2 名		
要介護 5	1 名				
要支援 1	名	要支援 2	名		
年齢	平均 84.9 歳	最低	77 歳	最高	97 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人富松記念会 三池病院神経科、精神科、内科
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

純和風の趣の中、リビングをはじめとする共有スペースには利用者が時代とともに歩んできた品々がさりげなく置かれており、中庭からふりそそぐやわらかな陽ざしと相まって、ゆっくりと静かな時間の流れを感じることもできるホームである。法人全体として、職員が万遍なく外部研修に参加できるような体制や留学生を受け入れて日本での資格取得に向けた支援体制などの研修体制が確立されており、職員のスキルアップに対する法人の意気込みが感じられる。介護計画書の内容は、利用者一人ひとりの全体像や出来る事を把握し、日々の張り合いや生きがいなどの精神面での支援を第一に、利用者の目線に立った内容である。今後、利用者のその時々レベルに応じた利用者の目線に立った支援と法人共々地域の核となっていくことが期待できる事業所である。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価結果について、運営推進会議にての報告がある。また、前回の結果を受け、改善計画シートを作成し、成年後見制度についての出前講座を利用して研修に取り組むなど、改善に向けた計画的な取組みがある。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の外部評価受審にあたり、全職員に自己評価の項目を振り分け検討し、ミーティング時に再度協議するなど、全職員がかかわっての自己評価への取組みがある。勤務経験の浅い職員にとっては、自己評価を通じて重点項目の確認ができ、経験の深い職員にとっては、より充実したケアとなるように再確認の場となるなど、質の向上に向けた取組みがある。
重点項目	運営推進協議会の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	市議会議員、行政担当職員、地域包括支援センター職員、民生委員、ガソリンスタンド経営者、法人職員、家族等を招いての2ヵ月毎の開催がある。会議では、ホームからの報告や状況説明のみならず、出入り口にセンサー設置の提案がでたり、地域行事の情報や不審者の情報をいただくなど、活発な情報交換の場となっている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)
	家族訪問時の個別の話し合い、その都度の報告、毎月の方のたよりの送付、法人全体の新聞の掲示などを通じて、報告や説明を行い、家族の様々な意見や要望の表出に努めている。出された意見等については、事例検討や担当者会議で検討を行い、介護計画書に反映させるなどの取組みがある。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日常的な買物や散歩、地域のボランティアの方々の来訪、高校生の職場体験の受入れ、小学生の体験学習の受入れ、小学校の運動会の見学、地域交流センターの利用を通じての地域住民との交流など、様々な機会を利用して、継続的に地域交流への取組みがある。

## 2. 調査報告(詳細)

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事業 所独自の理念をつくりあげている	開設時に、全職員がかかわっての理念の作成 である。住み慣れた地域でこころやすく「わ が家」を柱に、尊厳・感謝をキーワードとした 目標が掲げられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング、担当者会議等において、常に 理念に基づいて、本人にとって「何が充実して いるのか」を考えながら協議が行われている。 職員の方の理念の説明からも、理念の浸透が図 られている様子が伺える。		
2 地域との支え合い					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員と して、自治会、老人会、行事等、地域活 動に参加し、地元の人々と交流するこ とに努めている	日常的な買物や散歩、地域のボランティアの 方々の来訪、高校生の職場体験の受入れ、小学 生の体験学習の受入れ、小学校の運動会の見 学、地域交流センターの利用を通じての地域住 民との交流など、様々な機会を利用して、継続 的に地域交流への取組みがある。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及 び外部評価を実施する意義を理解し、評 価を活かして具体的な改善に取り組んで いる	前回の外部評価結果について、運営推進会議 にての報告がある。また、前回の結果を受け、 改善計画シートを作成し、成年後見制度につ いての出前講座を利用して研修に取り組むなど、 改善に向けた取組みがある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について 報告や話し合いを行い、そこでの意見を サービス向上に活かしている	関係者を招いての2ヵ月毎の開催がある。会 議では、ホームからの報告や状況説明のみならず、 出入り口にセンサー設置の提案がでたり、 地域行事の情報や不審者の情報をいただくなど、 活発な情報交換の場となっている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市 町村とともにサービスの質の向上に取り 組んでいる	市議会議員や行政担当職員、地域包括支援セ ンター職員の運営推進会議への参加がある。月 2回の介護相談員を受入れ、直接利用者とかか わって様々な意見をいただくなど、質の向上へ の取組みがある。		
7 追加	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事 業や成年後見制度について学ぶ機会を持 ち、個々の必要性を関係者と話し合い、 必要な人にはそれらを活用できるよう支 援している	職員に対して、行政の出前講座を利用して、 制度の理解と普及に努めている。必要な利用者 に対して制度の説明を行い、地域包括支援セ ンターを交えて制度利用に向けて検討を行うなど、 制度の活用を継続的に支援するための取組みがあ る。		
4 理念を実践するための体制					
8 (7)	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康 状態、金銭管理、職員の異動等につい て、家族等に定期的及び個々にあわせた 報告をしている	家族訪問時の個別の話し合い、その都度の報 告、毎月のたよりの送付、法人全体の新聞の掲 示などを通じて、報告や説明が行われている。		
9 (8)	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や 職員ならびに外部者へ表せる機会を設 け、それらを運営に反映させている	家族訪問時の個別の話し合いを通じて、様々 な意見や要望の表出に努めている。出された意 見等については、事例検討や担当者会議で検討 を行い、介護計画書に反映させるなどの取組み がある。		
10 (9)	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職 員による支援を受けられるように、異動 や離職を必要最小限に抑える努力をし、 代わる場合は、利用者へのダメージを防 ぐ配慮をしている	エト間の職員異動はあるも法人内の異動はな く、利用者も自由にエト間を行き来できるな ど、馴染みの関係性の継続への配慮がある。新 しい職員が入職した場合は、1ヶ月間は利用者 とのコミュニケーションを重視したかわりを持つ など、馴染みの関係づくりへの取組みがある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 人材の育成と支援					
11	19 追加	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用に関して何らの制限は行われていない。また、働きながらの資格取得に向けての支援体制がある。レクリエーションやクリスマス会等に、職員の能力や特技を發揮できる場所を設けるなどの配慮がある。		
12	20 追加	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	前回の外部評価から引き続いての懸案事項である。今年は、出前講座を利用しての人権教育・啓発活動へ取組む予定である。		出前講座を利用しての人権教育・啓発活動の予定を組まれています。今後、幅広い視点での人権意識についての理解を深め、職員一人ひとりの意識を喚起する意味においても、是非実現され、継続的・計画的に取組まれることを期待します。
13 (10)	21 (19)	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人本部での毎月の研修への参加やホーム内での勉強会の開催がある。外部での研修については、研修内容によって職員を割り振るなど、参加の機会がある。万遍なく全職員が何らかの外部研修に参加できるよう、法人全体での取組みがある。		
14 (11)	22 (20)	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者の個人的な知り合いを通じての、情報交換が行われている。現在、ご夫婦が別々のグループホームを利用しており、この利用者間の訪問を通じて、相互訪問や交流を検討中である。		現在計画されている、他の事業所との相互訪問や交流を实践され、質の向上に向けての情報交換、及び、職員個々の気づきやモチベーションをあげる機会となるような取組みを期待します。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15 (12)	28 (26)	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の見学や面談を通じて、本人が納得した上で入居に至るなど、馴染みの関係を構築するための取組みがある。利用者間の交流状況を見ながら座席を決めたり、職員が利用者間の調整役となりながら利用者同士のコミュニケーションを広げていくなど、馴染むための配慮がある。		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16 (13)	29 (27)	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者に寄り添い、話を傾聴することで、精神面でのかわりや学びを得ている。畑の作り方や苗の選定から植え方、花の生け方など、利用者から学ぶことが多く、相互の存在を支えあう関係を築いている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1 一人ひとりの把握					
17 (14)	35 (33)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で利用者の希望や思いを把握し、家族の訪問時の会話を通じて家族の意向や希望の把握に努めている。把握した内容は、センター方式の様式に転記され、職員間での情報共有と介護計画書に反映させての取組みがある。		
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18 (15)	38 (36)	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当職員が、日々のかかわりを通じて利用者や家族の希望の把握に努め、担当者会議にて他の職員からの情報を追加して介護計画書を作成している。		


外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19 (16)	39 (37)	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行う とともに、見直し以前に対応できない変 化が生じた場合は、本人、家族、必要な 関係者と話し合い、現状に即した新たな 計画を作成している	3ヵ月毎及び必要に応じて介護計画の見直し を行っているほか、毎朝30分のミーティ ングの時間を設け、職員の気づきを出し 合い事例検討を行っている。職員間での 情報交換や意見交換の場は設けられてい るも、確実な情報共有としての記録にま では至っていない。		状態等の変化のあるなしにかかわらず、 チームケアの観点から、全職員の気づき や利用者の現状の把握、職員間の確実な 情報交換と共有が充実したものとなるよ う、朝のミーティング内容の記録、回覧 等に取り組まれることを期待します。
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
20 (17)	41 (39)	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を 活かした柔軟な支援をしている	行きつけの理美容室の利用支援、今ま でのかかりつけ医の受診支援、自宅が 気になる方に対して換気や掃除、一時 帰宅の支援など、利用者の希望に応じ た柔軟な対応がある。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21 (18)	45 (43)	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事 業所の関係を築きながら、適切な医療 を受けられるように支援している	利用者の今までのかかりつけ医を基本 として、ホーム協力病院や専門病院と の連携が図られている。		
22 (19)	49 (47)	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、できるだけ早い段階から本人や 家族等ならびにかかりつけ医等と繰り 返し話し合い、全員で方針を共有して いる	契約時に、医療連携体制の同意書の説 明と重度化に対する指針として「介護 職員連絡対応について」の資料を配布 し、家族の意向の確認が行われている。 利用者本人の意向の確認は、セ ンター方式を通じての働きかけがある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23 (20)	52 (50)	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損 ねるような言葉かけや対応、記録等の個 人情報の取り扱いをしていない	利用者を良く観察したうえでのさりげない対 応や視線を合わせての傾聴、その時々の利用者 の状態に応じた言葉かけなど、利用者を尊重し た対応が見受けられた。		
24 (21)	54 (52)	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりのペースを大切に し、その日をどのように過ごしたいか、 希望にそって支援している	事業所としての基本的な流れはあるものの、 食事のペース、入浴のタイミングやかかる時 間、散歩・外出のタイミングなど、利用者の希 望やペースを尊重した支援がある。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25 (22)	56 (54)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人 ひとりの好みや力を活かしながら、利用 者と職員と一緒に準備や食事、片付けを している	メニューは利用者の希望を基に作成されてお り、料理の手伝い、下膳、後片付けなど、職員 と利用者が一緒に協力しながら行われている。 職員は利用者と同じテーブルを囲み、和やかな 雰囲気での食事風景であった。		
26 (23)	59 (57)	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてし まわずに、一人ひとりの希望やタイミン グに合わせて、入浴を楽しめるように支 援している	10時から17時までの間で、利用者の希望に応 じての柔軟な入浴支援が行われている。利用者 毎にお湯を入れ替え、シャンプー・リンス等は 利用者毎に個人で準備し好みの物を使用でき るなど、入浴を楽しめるような支援がある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27 (24)	61 (59)	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせる ように、一人ひとりの生活歴や力を活か した役割、楽しみごと、気晴らしの支援 をしている	利用者の生活歴及び出来る事を把握し、介護 計画書に取り入れての支援がある。買い物、ド ライブ、料理、草むしり、趣味の継続、寝る前 の晩酌など、利用者一人ひとりの全体像を把握 し、精神面での支援を第一に捉え日々の張り合 いや生きがいとなるような取り組みがある。		
28 (25)	63 (61)	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひ とりのその日の希望にそって、戸外に出 かけられるよう支援している	日常的な買物、散歩、ゴミ捨て以外に、希望 に応じての外出やドライブ、畑仕事や収穫作業 など、戸外に出ることを意識しての支援があ る。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29 (26)	68 (66)	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解して おり、鍵をかけないケアに取り組んでい る	日中は開錠されており、自由に出入りでき る。玄関ホールにセンサーを設置したことによ り、今まで以上に利用者の様子や来客等に対 して心配りが行き届くようになるなど、利用者 の自由な暮らしと安全面への配慮がある。		
30 (27)	73 (71)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜 を問わず利用者が避難できる方法を身に つけ、日ごろより地域の人々の協力を得 られるよう働きかけている	年に2回の避難訓練の実施を通して、消火訓 練や緊急時の連絡通報についての確認を行っ ている。運営推進会議時に、災害時における 避難場所としての受入れに向けた働きかけは行 われているが、地域住民への伝達・浸透はこれ からである。		災害時等の地域住民との相互連携や協力体 制、避難場所としての受入れ態勢などについ て、回覧版を使用するなど、地域住民への伝 達・浸透に努められることを期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31 (28)	79 (77)	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	献立は、管理栄養士が利用者の希望を基に作 成しており、栄養バランスや見た目を考慮した 内容である。必要な利用者に対して水分量や食 事摂取量の把握を行い、利用者の嗜好の変化に 対しての柔軟な対応が行われている。		



外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32 (29)	83 (81)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が最も輝いていた時代を意識した品が ホーム内にさりげなく置かれている。リビング をはじめとする共有スペースは、中庭からふり そそぐやわらかな陽射しにつつまれており、利 用者の穏やかな表情から居心地の良い空間であ ることが伺える。		
33 (30)	85 (83)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたものや 好みのものを活かして、本人が居心地よ く過ごせるような工夫をしている	それぞれの利用者の居室は、家具、カーペッ ト、写真、仏壇など、さまざまな思い出の品や 使い慣れた品が持ち込まれており、入居前の生 活の様子を伺うことが出来る居室となってい た。		

 は、重点項目。  
(数字)は、国の標準例による番号